

2022年度

事業計画書

一般社団法人 関青年会議所 2022年度スローガン

**強いJCへ、
そして強いJAYCEEへ**



2022 年度（一社）関青年会議所

委員会事業報告書

社 会 開 発 委 員 会

わんぱく相撲関場所実行委員会

JC カップ in 関実行委員会

社会開発委員会事業報告書

【副理事長】 森 有生
【委員長】 浦田 悠宇
【副委員長】 佐藤 孝昭

【委員】 名古屋 健太 土屋 健太
西村 健太 山路 亮太
加藤 大輝 亀井 一輝
北瀬 茂樹 秋元 光雄
森本 祐矢 若生 幸也
大石 将也 山村 雄太

【まとめ】

1 本年度の社会開発委員会は、青年会議所活動を通してメンバーを誰一人取り残さないために
2 もやり甲斐がある委員会運営をしてまいりました。その結果、メンバーが互いに高め合い成長
3 できたと感じております。

4 10月例会は2022年度社会開発委員会の最初の事業でした。関市には豊かな山林があり、
5 恩恵を受けている反面、過疎化などで機能の維持が難しくなっているなどといった課題に目を向
6 けました。その解決策の一つとしてジビエを使ったカレー料理を市民の皆様と一緒に作る事業を
7 行い、賛助会員様にも店舗において提供いただきました。結果的に約1000食の関カレーを市
8 民の皆様にご提供いただき今後、どのように山間地域の課題を解決していくのかと考えるきっか
9 けとしていただくことができました。商品化に結びつけるなどといったところまで踏み込めな
10 かったのは残念ですが、今後の課題としていただければと思います。

11 12月例会では長年に亘り関青年会議所に所属され、尽力された卒業生の新たな門出を祝うた
12 めに2年ぶりとなる卒業例会を開催いたしました。厳粛な雰囲気で行うためにリハーサルを重ね、
13 式を執り行うことができました。

14 最後となりますが、社会開発委員会の活動にご理解、ご協力いただきました多田理事長を
15 はじめとするメンバーの皆様、様々な部分でご協力いただきました森副理事長には心より感
16 謝申し上げます。また、何より委員会運営を支えてくださいました佐藤副委員長や委員会メ
17 ンバーには大変感謝しております。1年間本当にありがとうございました。

【事業報告及び決算】

事業名	内容	決算額
10月例会	山間地域の課題に気づき向き合う事業 テーマ：食べて学ぼう、山間地域 会場：マーゴ クッキングスタジオ	¥390,925
12月例会	卒業証書授与式 テーマ：感謝の意を込めて送り出そう ~新たな ステージへ旅立つ卒業生へ~ 会場：総合福祉会館 3-1会議室	¥26,939
合計		¥417,864

JCカップin関実行委員会事業報告書

【実行委員】 森 有生
【実行副委員長】 浦田 悠宇

【委員】 名古路 健 土屋 健太
山路 良太 西村 健太
篠田 晃平 加藤 大輝
亀井 一輝 北瀬 茂樹
秋元 光雄 若尾 幸也
大石 将也 森本

【まとめ】

1 このまちに住む子供たちのために夢と希望を感じるきっかけを作ってあげたいという思いから
2 JCI 関としては初参加、初開催となる JC カップ in 関を開催いたしました。JC カップ in 関は、
3 第 8 回 JC カップ U-11 少年少女サッカー全国大会に繋がる地方予選大会の位置付けになりま
4 す。新型コロナウイルスの影響により、直前まで開催の有無が決まらなかったことも本例会
5 では経験させていただきました。しかし、強い意志を持って事業を開催したいという信念の
6 元、突き進みました。開催直前になって世論が落ち着いていた好材料も重なり、無事に事業
7 を開催できたことを嬉しく思います。参加いただいた子供たちを始め、指導者の皆様、保護
8 者の皆様からも開催をしてくれて嬉しかったという声を沢山いただきました。大人と子供の
9 関わり合いも出来ましたし、JC カップ特有のアフターマッチミーティングでは普段は敵同士
10 で戦うだけの相手と会話をしたり、互いの良い所を褒め合うなど、非常に良い体験の場を子
11 供たちに提供できました。

12 世論の影響で、部活動やスポーツ活動が開催出来ていない団体もある中での開催でしたの
13 で、JC カップ in 関が久しぶりの活動の場だったというチームもありました。子供たちから
14 は、最近の練習量が少なかったので本来の動きが出来なくて悔しいという意見だったり、保
15 護者からは久々のスポーツ活動の場で、子供たちが楽しそうに走り回っている姿が見れて嬉
16 しかったなど、地域活動の場として良い時間を提供できたことも嬉しい一面でした。一つの
17 事に子供たちが夢中になり、その姿を見てチーム関係者も保護者も夢中になりました。目的
18 としていたことが実行された素晴らしい大会になりましたので、来年度も是非継続して欲し
19 いと思います。

20 最後に、今年も新型コロナウイルスの影響により多くの問題が発生しました。その中でも、事
21 業を開催するという強い意志をもって突き進んだ結果が事業開催に繋がりました。委員会の皆様
22 に助けていただきまして、本事業を大成功で終える事ができました。今年一年学んだことを活か
23 し、他のメンバーとも共有していきたいと思えます。最後まで支えていただきました関青年会議
24 所メンバー全員と事業に関わった全ての方に感謝申し上げます。1年間ありがとうございました。
25 た。

26

【事業報告及び決算】

事業名	内容	決算額
4月例会	JCカップ in 関 テーマ：目指せ全国！仲間と共に戦おう！ 会場：グリーン・フィールド中池	¥287,169
合計		¥287,169

わんぱく相撲関場所実行委員会事業報告書

【実行委員長】 田中 雄貴

【実行副委員長】 佐藤 孝昭

【委員】 名古屋 健 土屋 健太

西村 健太 山路 亮太

加藤 大輝 亀井 一輝

北瀬 茂樹 秋元 光雄

森本 祐矢 若生 幸也

大石 将也 山村 雄太

【まとめ】

本年度、わんぱく相撲関場所実行委員会では子どもたちの健全な成長わんぱく相撲に係わる全ての事業を担当させていただきました。

5月例会では第36回わんぱく相撲関場所を開催させていただきました。本年度は礼儀礼節を重んじる相撲を通じて、勝ち負けに関わらず競い合う相手への敬意や感謝の心を育むことを目的としました。前年度より引き続き、コロナ禍での事業となりましたが、武芸川体育館を開催会場として午前小学校低学年の大会を行い、午後から高学年の大会を行う2部制にて運営するなど感染対策を徹底して行いました。大会中には保護者の方々からコロナ禍であっても開催したことへの感謝の言葉を多くいただき、関青年会議所に向けられている期待も感じることができました。また、子どもたちの真剣に戦う姿には関青年会議所メンバーも胸を打たれる場面が多くあり、青少年育成事業の魅力を確認することができた大会となりました。

第27回わんぱく相撲岐阜ブロック大会では関市を代表するわんぱく力士たちが、全力で相撲に取り組むことができるようにサポートさせていただきました。コロナ禍といわれる中、男女共に無事に大会へと出場することができ、女子チームは惜しくも全国大会への出場は叶いませんでしたが、男子チームは見事に勝ち抜き、全国大会へと進むことができました。木曜クラブへ参加いただいたことや、岐阜ブロック大会を経験したことで、さらなる目標に向かって努力し、心身共に成長していただけたと感じています。

第37回わんぱく相撲男子全国大会では岐阜ブロック大会を勝ち抜いた男子チームに参加いただきました。全国大会ともなると身体の大きいわんぱく力士も多く、レベルの違いを感じる中での参加でありましたが、木曜クラブで重ねてきた稽古によって心身共に成長しているという充実感から臆することなく相手に挑んでいく姿を見ることができました。また、仲間の試合の時には一生懸命応援する姿も見ることができ、大変嬉しく思いました。

わんぱく相撲は子どもたちが豊かな心を育み、心身共に成長することができる貴重な機会です。次年度以降も継続して運動発信を行っていくためにも、実行委員長として本年度の経験をしっかりと引継いでまいります。そして、率先して行動し、最後まですぐ側で支えてくださった佐藤副委員長、さらには関青年会議所の皆様、事業に関わっていただきました皆様には深く感謝を申し上げます。1年間、本当にありがとうございました。

【事業報告及び決算】

事業名	内容	決算額
5月例会	第36回わんぱく相撲関場所 テーマ：相手に感謝 ～相撲で学ぶ礼儀と礼節～ 会場：関市武芸川体育館	¥288,110
第27回わんぱく相撲 岐阜ブロック大会	テーマ：発気揚揚 ～決まり手は押し出しで！～ 会場：岐阜メモリアルセンター相撲場	¥24,000
第3回わんぱく相撲 女子全国大会	テーマ：強敵に立ち向かえ ～決めろ、必殺すくい投げ！～ 岐阜ブロック大会敗退のため出場なし	¥0
第37回わんぱく相撲 男子全国大会	テーマ：強敵に立ち向かえ ～決めろ、必殺上手投げ！～ 会場：東京両国国技館	¥63,463
合計		¥375,573

一般社団法人 関青年会議所
 2022年度 正味財産増減計算書(決算書)
 自 2022年1月1日
 至 2022年12月31日

(単位:円)

科 目	決算	2022年三次補正予算	差 異	2022年度 摘 要
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
① 受取入金金	65,000	65,000	0	(受取入金金) 新入会員 30,000円 × 1名
受取入金金	65,000	65,000	0	特別会員 60,000円 × 0名
② 受取会費	3,750,000	3,750,000	0	交代会員 5,000円 × 1名
正会員受取会費	2,000,000	2,000,000	0	(受取会費) 正会員 100,000円 × 20名
7月入会正会員受取会費	50,000	50,000	0	7月入会 50,000円 × 1名
準会員受取会費	40,000	40,000	0	準会員 20,000円 × 2名
賛助会員受取会費	1,660,000	1,660,000	0	賛助会員 10,000円 × 166社
正会員(産休中)受取会費	0	0	0	産休会員 30,000円 × 0名
③ 事業収益	0	0	0	
登録料収益	0	0	0	
中青会LOM登録料	0	0	0	
④ 受取補助金等	0	0	0	
受取地方公共団体助成金	0	0	0	
受取民間助成金	0	0	0	
⑤ 受取寄付金	0	0	0	
受取寄付金	0	0	0	OB会寄付金
⑥ 雑収益	86,129	86,129	0	
受取利息	69	69	0	
雑収益	86,060	86,060	0	JCカード還付金、OB会通信費等
経常収益計	3,901,129	3,901,129	0	
(2) 経常費用				
① 事業費	1,108,757	1,108,757	0	
諸謝金	110,800	110,800	0	
給与手当	0	0	0	
旅費交通費	0	0	0	
消耗品費	156,516	156,516	0	
通信費	380	380	0	
広告宣伝費	329,480	329,480	0	
租税公課	0	0	0	
保険料	57,950	57,950	0	
賃借料	83,878	83,878	0	
会場費	110,950	110,950	0	
会議費	0	0	0	
研修費	0	0	0	
印刷製本費	775	775	0	
委託費	135,805	135,805	0	
雑費	122,223	122,223	0	
委員会運営費	0	0	0	
② 管理費	1,966,674	1,949,377	△ 17,300	(会議費) 会場費、次第
会議費	0	0	0	
給料手当	0	0	0	
福利厚生費	0	0	0	
旅費交通費	0	0	0	
通信費	257,582	257,582	0	(通信費) 電話、インターネット、FAX
消耗品費	16,053	16,053	0	(消耗品費) コピー用紙、掃除用品、賞状、ファイル、トイレ紙ペーパー等
賃借料	0	0	0	
印刷製本費	0	0	0	(印刷製本費) トナー代
地代家賃	480,000	480,000	0	(地代家賃) 事務局家賃 40,000円 × 12ヶ月
支払手数料	55,292	55,292	0	(支払手数料) 会計士、司法書士手数料
渉外費	134,016	131,466	2,550	(渉外費) 香典等
修繕費	0	0	0	
光熱水道費用	208,100	208,100	0	(光熱水料費) 電気代・水道代
火災保険料	11,260	11,260	0	(火災保険料) 事務局火災保険
業務委託費	472,051	472,051	0	(業務委託費) 基本資料・スローガン・ネームプレート
諸会費	156,650	156,650	0	(諸会費) 各種大会登録料・BCスポーツ大会登録料・各協会会費
雑費	175,670	165,520	10,150	(雑費) 手数料・法人県民税・法人市民税・雑費
予備費	0	30,000	△ 30,000	(予備費)
③ 負担金	400,769	394,780	5,989	
JCI負担金	35,105	33,280	1,825	(\$13*128円) 1,664円 × 20名
日本JC基本額	30,000	30,000	0	
日本JC賦課金	102,500	100,000	2,500	5,000円 × 20名
日本JC出向者負担金	0	0	0	20,000円 × 0名
国際協力資金	38,164	36,500	1,664	1,825円 × 20名
地区協議会負担金	50,000	50,000	0	2,500円 × 20名
ブロック協議会基本額	10,000	10,000	0	
ブロック協議会賦課金	60,000	60,000	0	3,000円 × 20名
ブロック協議会出向役員負担金	0	0	0	10,000円 × 1名
ブロック協議会負担金	50,000	50,000	0	2,500円 × 20名
中青会負担金	25,000	25,000	0	
関市まちづくり協議会協力金	0	0	0	
④ 他会計からの繰入金支出	100,000	100,000	0	
特別会計繰入金への支出	100,000	100,000	0	
経常費用計	3,578,200	3,552,914	23,286	
当期経常増減額	324,929	348,215	△ 23,286	
2. 経常外増減の部	0	0	0	
(1) 経常外収益	0	0	0	
(2) 経常外費用	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	
当期一般正味財産増減額	324,929	348,215	△ 23,286	
一般正味財産期首残高	8,430,340	8,430,340	0	
一般正味財産期末残高	8,755,269	8,778,555	△ 23,286	
II 指定正味財産増減の部	0	0	0	
当期指定正味財産増減額	0	0	0	
指定正味財産期首残高	0	0	0	
指定正味財産期末残高	0	0	0	
III 正味財産期末残高	8,755,269	8,778,555	△ 23,286	

一般社団法人 関青年会議所
 貸借対照表 総括表
 2022年12月31日現在

(単位:円)

科目	一般会計	特別会計	合計
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金	0	0	0
普通預金	8,755,269	900,054	9,655,323
定期預金			
流動資産合計	8,755,269	900,054	9,655,323
2. 固定資産			
固定資産合計	0	0	0
資産合計	8,755,269	900,054	9,655,323
II 負債の部			
1. 流動負債			
流動負債合計	0	0	0
負債合計	0	0	0
III 正味財産の部			
1. 正味財産	8,755,269	900,054	9,655,323
<うち特定資産への充当額>	0	0	0
正味財産合計	8,755,269	900,054	9,655,323
負債及び正味財産合計	8,755,269	900,054	9,655,323

一般社団法人 関青年会議所
 財産目録 総括表
 2022年12月31日現在

(単位:円)

科目	金額		
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金 (一般会計) 現金手元有高	0		
普通預金 (一般会計)	9,655,323		
(一般会計) 関信用金庫本店 1075553	8,755,269		
(特別会計) 関信用金庫本店 1170545	900,054		
流動資産合計		9,655,323	
資産合計			9,655,323
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金			
流動負債合計			
負債合計			
正味財産			9,655,323

正味財産増減計算書
2022年1月1日から2022年12月31日まで

会計: 特別会計

(単位: 円)

科 目	2022年度決算	2022年度予算	差異
I 一般正味財産の部			
(1) 経常収益			
雑収入	6	0	6
受取利息収入	6	0	6
その他雑収入	0	0	0
他会計への繰入金収入	100,000	100,000	0
一般会計繰入金収入	100,000	100,000	0
経常収益計	100,006	100,000	6
(2) 経常費用			0
他会計への繰入金支出	0	0	0
一般会計繰入金支出	0	0	0
経常費用計	0	0	0
当期計上増減額	100,006	100,000	6
正味財産期首残高	800,048	800,048	0
正味財産期末残高	900,054	900,048	6
正味財産期末残高	900,054	900,048	6

一般社団法人 関青年会議所
貸借対照表
2022年12月31日現在

(特別会計)

(単位:円)

科 目	合 計
I 資産の部	
1. 流動資産	
現金	0
関信用金庫本店営業部支店普通1170545	900,054
流動資産合計	900,054
2. 固定資産	0
固定資産合計	0
資産合計	900,054
II 負債の部	
1. 流動負債	
前受金	0
流動負債合計	0
負債合計	0
III 正味財産の部	
1. 正味財産	900,054
(うち特定財産への充当額)	0
正味財産合計	900,054
負債及び正味財産合計	900,054

一般会計社団法人 関青年会議所
 財産目録
 2022年12月31日現在

会計:特別会計

(単位:円)


科 目	金 額		
I 資産の部			
1. 流動資産			
普通預金 (特別会計) 関信用金庫本店営業部 普通1170545	900,054		
流動資産合計		900,054	
資産合計			900,054
II 負債の部			
1. 流動負債			
流動負債合計	0		
負債合計		0	
正味財産			900,054

監査報告書

一般社団法人 関青年会議所
2022年度 理事長 多田 幸泰 様

1. 我々は、2022年1月1日から2022年12月31日までの事業年度において、監査を2023年1月6日に行い、理事長及び財務担当理事からの事業報告を求め、通常必要とされる監査手続きを実施した。
2. 事業計画に基づき適正に執行されており、また、事業報告の内容は事実であると認められる。
3. 会計は、予算に基づき適正に処理されており、また、計算書類は財務及び収支の状況を正しく示していると認められる。

2023年1月6日

2022年度 監事 山中孝浩 

出向報告

公益社団法人 日本青年会議所
東海地区 岐阜ブロック協議会
監査担当役員 田中雄貴

本年度、公益社団法人日本青年会議所東海地区岐阜ブロック協議会の監査担当役員として出向をさせていただきました。出向の機会を与えていただいた多田理事長をはじめとする関青年会議所メンバーの皆様には深く感謝を申し上げます。

監査担当役員として岐阜ブロック協議会で行われる会議の講評や会議、委員会の事業について不備がないか、各 LOM からお預かりしている登録料が適正に使用されているのか監査を行い、さらにはコンプライアンスの遵守においても適正な処理を行ってまいりました。また、内部監査においてはとても細かい部分まで指摘をいただき自身の法務や財務に関する知識の足りなさについて改めて見直す機会となりました。2020 年からコロナ禍といわれる中での活動が続いてきましたが、オンラインの活用にも慣れ、時勢に対して臨機応変に活動方法を変化させながら、常に最善の運動発信を目指し役員一同会議を重ねてまいりました。会議内での他 LOM からの出向者の皆様との議論は、各 LOM の資料作成においてこだわる部分や JC 運動に対する考え方の違いがよく分かり、新たな考え方に気付くことができ自身の成長につながる機会とすることができました。岐阜ブロック協議会へ監査担当役員として出向したことで関青年会議所内での活動だけでは関わることのできない多くの仲間との出会いに恵まれ、役員の皆様や各 LOM の理事長の皆様と共に岐阜ブロック協議会内の全ての事業に深く関わることもできた 1 年間となりました。

青年会議所の活動には様々な出向の機会が存在しています。それは岐阜ブロック協議会への出向に留まらず、東海地区協議会や JCI 日本、さらには世界へと広がっています。私は在籍 7 年の中で 5 度目の出向となりますが、その出向先で得られる多様な価値観をもつ仲間との出会いや考え方、経験は関青年会議所の活動だけでは気付くことが難しいことばかりだと確信しています。そして、その全てが皆様の今後の人生における大きな財産となると信じています。関青年会議所のメンバーの皆様にはさらなる自身の成長へとつなげるためにも、機会があれば積極的に手を伸ばしてほしいと思っています。私も本年度の出向で得ることができた経験や知識、情報を多くのメンバーに伝えていきます。本当にありがとうございました。